

令和6年
2024年

12月4日
水曜日

第11609号

食肉速報

— THE DAILY MEAT NEWS —

昭和51年5月19日
第三種郵便物認可

購読料 (前納)
年間 82,080円
(税込み)
6カ月 42,120円
(税込み)

本紙は関連企業・団体との
タイアップ企画記事を含みます

【発行所】株式会社食肉通信社
<https://www.shokuniku.co.jp/>

東京支社
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町18-1
TEL03-3663-2011 FAX03-3663-2015

大阪本社
〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48
TEL06-6538-5505 FAX06-6538-5510

九州支局
〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12
TEL092-271-7816 FAX092-291-2995



U.S.M.Hは、いなげやと経営統合し新たな経営体制でスタート……P4~5

- ▶ 大手豚肉サプライヤーインタビュー
ハニューフーズ梅田英哉グループ原料2部長
…………… P2~3
- ▶ 10月の豚肉輸出は、前年同月比26.5%
減で輸出額も減…………… P3
- ▶ 全国食肉学校が食品衛生管理者登録講習会
を実施、受講生を募集…………… P3
- ▶ エスフーズ・ミートフェア180頭を出品、長年
の愛顧に謝辞…………… P4
- ▶ U.S.M.H、いなげやとの経営統合を発表……P4~5
- ▶ 川口食肉荷受(株)肉牛枝共、最優秀賞は単
価4449円でヨシタケミート購買…………… P5
- ▶ 全農岐阜県本部主催共進会の最優秀賞を
キロ単価9925円で丸明が購買…………… P6
- ▶ 肉用牛振興基金協会「環境調和型持続的
肉用牛生産」の情報交換会開催…………… P6
- ▶ さいたま市場黒毛和種枝肉共励会、名誉賞に
長谷川牧場、中村畜産が購買…………… P7
- ▶ 大阪市場で鹿児島県肉牛枝共を開催
ダイユー出品牛がGC獲得、4324円で落札
…………… P7
- ▶ 【12月の相場見通し】④国産鶏肉、輸入鶏肉、素牛
…………… P8
- ▶ 宮崎県川南町で鳥フル、肉用鶏3万5千羽殺
処分一農水省…………… P8
- ▶ [資料]日本食肉流通センター週間市況 〈和牛・
交雑牛・乳牛チルド〉…………… P9
- ▶ [東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数]3日……P10
- ▶ [各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場]3日…P11

注目のヘッドライン

大手豚肉サプライヤーインタビュー
ハニューフーズ梅田英哉グループ原料2
部長
…詳細はP2~3

U.S.M.H、いなげやとの経営統合
を発表
…詳細はP4~5

食の感動体験を創造することで
世界中の人々と食をつなぎ続ける



<https://www.starzen.co.jp/>



<https://www.sfoods.co.jp/>

大手豚肉サプライヤーインタビュー ハニューフーズ梅田英哉グループ原料2部長

— 昨年の取扱実績について教えてください。

重量ベースでチルドは2022年比126%、フローズンは106%、金額ベースではチルド129%、フローズン110%です。

チルドは前年に続き円安や現地価格の上昇などコストアップがありましたが、日本国内では国産豚肉の相場が堅調に推移したこともあって代替需要もみられ、2ケタ増となりました。ディスカウント・ストア業態を含む量販店への販売が伸長していることも要因です。

フローズンに関しては前年大きく伸びましたが、23年も引き続き増加しています。ただ、フローズンの場合は販路の中心が1次加工や外食などの業務用となり、低価格志向の影響を強く受けている印象です。

外食需要全体が回復傾向にあるとはいえ、1品当たりの使用量を減らす、メニュー改定の際に使用原料を見直すなどの対応を取られる機会も増えており、厳しい状況だと認識しています。

— 今期の計画と見込みを教えてください。

おおよそですが、チルドは重量100%、フローズンは95%、金額ベースではチルド108%、フローズン107%を計画しています。為替動向など依然として不透明な部分が多い中、チルドは24年も大きく伸ばした前年の数字を維持していきたいと思っています。

フローズンは物量ベースで若干下回る見通しです。チルドでも同様ですが、23年初頭、外貨高騰を想定し、各社が一気に買いに入ったため国内在庫の多い状況が続いています。その結果、手当てした時のコストよりも相場が下がり、利益を圧迫しています。

— 現地の需給状況については。

米国、欧州のいずれも供給は増加していますが、消費とのバランスが取れていません。消費が増加しているといっても、現地のインフレ率が日本に比べて高過ぎます。日本向けに販売するよりも現地の方が高値で販売できるため、外貨は高いままです。

コストアップ要因としてカナダ、デンマークのパッカーで工場の閉鎖により供給が減少し、価格が下がりにくくなりました。生産調整を行う目的ですが、これ以上の閉鎖は考えにくい状況です。



南米など第三国の供給先から手当てする動きを進めていますが、世界を見渡しても供給先は限られるため、ここでも競合は激しくなり、中長期的にみれば価格も上昇傾向にあります。

— 今期、販売に注力されるブランドは。

チルドでは引き続き、JBSの(オットムア)工場生産される「ピュアポーク」の販売に注力します。

アイオワ州立大学の指導の下、PH度、肉色、脂肪交雑、ジューシーさなどの項目で検査結果を数値化し、農場やカット工場と検証結果を共有する体制を築いているのが特徴です。第三者機関の品質検査による検証などにより、日本のマーケットに評価される商品作りに取り組んでいます。

また、タイソンの「アメリカンクラウン」は規格優先のブランドで、歩留まりが良いのが特長です。ストーリー性を価値訴求し、エリアごとで取り組みを共有していただける量販店でブランドの育成をしてきました。

カナダ産の「エフメナール」はオリメル社独自で開発した三元豚で、専門の栄養士が最適な飼料プログラムを作っています。生体・飼料全てを自社管理し、一貫生産を行うことで安定した肉質が特長です。

— 主要販路は。

チルド、フローズンともグループの販売会社を通じて量販店や外食、食品メーカーなどへの販売が中心となっています。チルドに関してはグループ会社の8割強は量販店などへの販売です。価格面での優位性を訴求したいと考えます。

フローズンも業務用が回復傾向にありますが、使用量や原料の見直しを図られることを考えると、特に

冷凍品の取り扱いが増加傾向にあるディスカウント業態への提案を強化していきたいと考えています。

—中長期的な取り組みをきかせてください。

牛肉から豚肉、鶏肉と、価格が低い方へ需要はシフトしていますが、豚肉需要はある程度の強さを維持

するとみえています。また、ドイツに拠点を構えるグループ会社を活用し、情報の収集・発信を強化していきたいと考えています。従来の取り組みを継続しつつ顧客とのつながりを大切にし、変化するニーズに対して臨機応変に対応できるよう努めます。

10月の豚肉輸出は、前年同月比26・5%減で輸出額も減

財務省貿易統計による10月の国産豚肉輸出量は122t(前年同月比26・5%減)と前年同月比で減少した。一方、前月比では47・2%増加した。輸出先国は合計4カ国・地域で、国別にみると香港が最も多く、合計97t(31・2%減)。次いでシンガポール、マカオ、ベトナムとなった。輸出額は合計1億6617万円(24・2%減)となった。キロ当たり輸出単価は1364

円。

一方、鶏肉・鶏くず肉などは、合計339t(30・1%減)。輸出先では、香港が最も多く322t。そのうちモモ肉、ムネ肉は41t(53・4%減)となった。次いでベトナムの51t(約2倍増)。キロ当たり輸出単価は265円。

豚肉輸出の表

単位:キロ

	香港		ベトナム	シンガポール	マカオ	タイ	その他国	合計
	冷蔵	冷凍	冷凍	冷凍	冷凍	冷凍		
2023年9月	1,354	97,595	100	34,135		4,348		137,532
10月	580	139,901		22,699	2,012	150	306	165,648
11月	1,343	86,174		9,611			3,382	100,510
12月	1,707	107,731		41,760		192		151,390
2024年1月	2,255	64,640		12,490		2,508	114	79,752
2月	1,011	53,904		40,646	5,769		519	101,849
3月	941	70,197		63,874		2,022	108	137,142
4月	1,001	55,225		46,326		2,855	114	105,521
5月	1,684	55,203		17,418	16,120	3,646		94,071
6月	1,328	73,301		30,669		2,061	104	107,463
7月	1,181	63,653		31,372	2,021	2,337		100,564
8月	985	65,468	155	19,695	4,620	4,568		95,491
9月	2,455	60,136		12,138	5,295	872	1,829	82,725
10月	919	95,797	134	24,291	670			121,811
前年同月比	158.4%	68.5%	-	107.0%	33.3%	0.0%	0.0%	73.5%
2024年累計	13,760	657,524	289	298,919	34,495	20,869	2,788	1,026,389
前年同期比	87.5%	76.8%	0.0%	81.4%	62.0%	26.2%	208.5%	78.1%

全国食肉学校が食品衛生管理者登録講習会を実施、受講生を募集

公益(社)全国食肉学校(群馬県玉村町、小原和仁学校長)は2025年2月3日~3月6日、食品衛生管理者登録講習会(食肉製品)を実施する。受講生を募集している。講習会場は全国食肉学校、実習は高崎健康福祉大学(食品衛生管理者養成施設、群馬県高崎市)で行う。受講資格は食肉製品製造業において製造または加工の衛生管理の業務に2年以上従事した者。

受講料は30万6千円(消費税込み)で受講予定人員は60人。申し込みは食肉学校HP上の「食品衛生管理者の登録講習会実施要領」から「実施要項」の別紙1「申込書」に必要事項を記入の上、学校FAX=0270(65)9274で先着順に受け付ける。また、必要書類を年内必着で食肉学校へ郵送する。宿泊を希望する人には提携ホテルを案内している。問い合わせ電話=0270(65)2571

エスフーズ・ミートフェア180頭を出品、長年の愛顧に謝辞

エスフーズは1日、「第38回エスフーズ・ミートフェア」「第18回和牛マスター・ミートフェア」を、和牛マスター食肉センター(姫路市食肉地方卸売市場)で開催した。同社グループや、日頃の取り扱いが多い生産者の黒毛和牛を中心に180頭が集められた。全国各地の取引先112社・138人が参加し、各事業所から集まったエスフーズ幹部や各担当者が対応した。

11時開始の競りに先立ち、村上真之助社長(上写真)が「今年で38回目ということで、本当に長い間可愛がっていただいて、代が変わってもお越しいただくなど、本当にありがたいと思う。今年もいろんなことがあったが『終わり良ければ全て良し』という言葉のように、この12月を乗り切って新しい年を迎えられるように良い牛を買っていただけたらと思う」とあいさつ。

昨年から出品牛の新たな褒賞として社長名を冠した「村上真之助賞」が用意されており、今年も誰が落札をするのか注目が集まった。入賞牛の生産者は次のとおり。

村上真之助賞 ひらまつ(購買者=肉の匠家)、ひまわり牧場(PFC)、農業生産法人のぞき(板前焼肉一斗)▽名誉賞去勢の部 同(寺鼻畜産)▽同雌の部 山上畜産(備長炭焼肉弘一)▷グランドチャンピオン去勢の部 うしの中山(板前焼肉一斗)▷同雌の部 ひまわり牧場(肉の匠家)▷エスフーズ最優秀賞 谷口ファーム(PFC)、山上畜産(クオーク<板前焼肉一牛>)▷同優秀賞 神戸畜産和歌山牧場(ミートファクトリー)、谷口ファーム(ゼンショウ<板前焼肉一笑>)、井寄牧場(肉匠和)、山上畜産



(寺鼻畜産)、農業生産法人のぞき(ミコー食品)▷和牛マスター最優秀賞 尾崎牛肥育川南牧場(インダフーズ)、農業生産法人のぞき(中村畜産)▷優秀賞 谷口ファーム(辰巳フーズ)、山上畜産(吉尾商店)、うしの中山(肉匠和)、農業生産法人のぞき(PFC)、同(イズミヤ・阪急オアシス)▷神戸ビーフ最優秀賞 盛本和喜(辰屋)▷優秀賞 同(牛一)、神戸井相田牧場(同)、寺内昭則(ミコー食品)

U.S.M.H、いなげやとの経営統合を発表

ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス(株)(U.S.M.H)は、(株)いなげやとの経営統合により11月30日から新たな経営体制でスタートした。これに先立ち29日、U.S.M.Hと事業会社の代表取締役社長が出席し「新生U.S.M.Holdings経営統合説明会」を開催。(株)マルエツ、(株)カスミ、マックスバリュ(MV) 関東(株)、いなげやの4社が首都圏最大規模のスーパーマーケット企業となる新生U.S.M.Hの

ldingsの今後について説明するとともに、12月1日から4社共同で開催する「新生U.S.M.H誕生記念祭」についてPRした。

出席者はU.S.M.Hの藤田元宏社長(写真中央)、マルエツの本間正治社長(写真左から2人目)、カスミの塚田英明社長(写真右)、MV関東の島田諭社長(写真左)、いなげやの本杉吉員社長(写真右から2人目)。藤田社長は「この度、当社はいなげやとの経

営統合により、4社の経営体制となり、スタートすることとなった。いなげやは東京都多摩地区を中心に店舗展開するスーパーマーケットで、創業以来、100年を超える長きにわたって地域とともに成長してきた会社。この統合により、当社は首都圏で一番規模の大きなスーパーマーケット企業となり、今後は新たに加わったいなげやともどもこの規模を生かし、新たな価値を創造し、お客さまに提供し競争力を高めることができるよう、機能や組織を再構築していく」

「また、事業会社4社を中心に、それぞれの店舗が培ってきた地域との関係性を一層強め、その地域のお客さまにこれまで以上のご支持をいただけるよう顧客起点で店舗を変革していく。これまで以上に多くのステークホルダーの皆さまとの結び付きを深めていく決意とともに、当社が果たすべき社会的責任をこれまで以上に重く受け止め、持続的成長を描くことができる体質へと転換することに全社を挙げて注力する」と



あいさつ。

これを機に1都6県に展開するグループ店舗では1日から「新生U.S.M.H誕生記念祭」を開催。4社こだわりの共同調達商品やお買い得商品を提供するほか、かつてない規模でのキャンペーン「U.S.M.Hでドリームtime!」も展開している。

川口食肉荷受(株)肉牛枝共、最優秀賞は単価 4449 円でヨシタケミート購買

川口食肉荷受(株) (石井一雄社長=写真左) は2日、年末恒例の「第39回川口食肉荷受(株)肉牛枝肉共進会」を開催した。今回の共進会には黒毛和種75頭、交雑種31頭の合計106頭が出品され、最優秀賞(埼玉県知事賞、日本食肉市場卸売協会会長賞、日本食肉格付協会会長賞、井上丸丑商事賞、川口食肉荷受(株)社長賞)を筆頭に各賞を決定。厳正な審査の結果、栄えある最優秀賞には、農事組合法人美雪ファーム樋口(写真右=代理)の出品牛(去勢、A5、枝肉重量563kg)が輝いた。競りでは、例年同様に場内が購買者の熱気に包まれる中、全頭が手競りで販売され、最優秀賞牛は4449円(税込み)でヨシタケミート(株)が購買した。競り後の表彰式では石井社長は生産者、購買者に向けて感謝を述べ、「さまざまな課題が山積する中、業界を取り巻く環境は非常に厳しいが、頑張っていきたい」と決意を新たにした。優秀賞3点、優良賞6点(重量、価格/税込み、購買者)は次のとおり。

【優秀賞】遠藤牧場(雌、A5、471kg、3218円、



下山畜産)▽美雪ファーム樋口(去勢、A5、503kg、3304円、ニイチク)▽瑞穂農場(去勢、613kg、3250円、下山畜産)

【優良賞】清水和夫(去勢、A5、597kg、3024円、同)▽廣田一男(去勢、A5、571kg、3132円、同)▽塚田牧場(去勢、A5、602kg、2991円、同)▽南雲農場(去勢、A5、610kg、3088円、ヨシタケミート)▽穴倉実(雌、A5、456kg、2926円、同)▽瑞穂農場(交雑種・雌、B5、611kg、2052円、下山畜産)

全農岐阜県本部主催共進会の最優秀賞をキロ単価 9925 円で丸明が購買

全国農業協同組合連合会岐阜県本部は2日、岐阜県高山市の飛騨ミート地方卸売市場で「令和6年度岐阜県下農協肉牛枝肉共進会」を開催した。共進会は安全・安心な飛騨牛を消費者へ供給するため、飛騨牛銘柄推進協議会登録農家制度にて認定された生産者の生産技術の向上および生産基盤の強化を図り、さらなる飛騨牛の肉質向上と継続を目的として開催されている。

今年は黒毛和種179頭(雌56頭、去勢123頭)が出品され、厳正な審査の結果、最優秀賞は(農)ハイランドファーム荘川(写真右)の出品牛(A5、去勢、枝肉重量490・0kg、BMSNo.12)が選出され、キロ当たり9925円(税込み)で(株)丸明(写真左)が購買した。出品牛のうち5等級153頭、4等級26頭で、出品牛全頭が4等級以上の良質な飛騨牛が出そろった。競りでは、年末の需要期らしい活発な取引が展開されて全頭が高値で購買された。

主な入賞牛は次のとおり。(全頭=A5、BMSNo.12)

最優秀賞 ハイランドファーム荘川(去勢、枝肉重量490・0kg、キロ当たり9925円、購買者=丸明)
▽優秀賞1席 井口正樹(雌、454・5kg、7808円、同)、同2席 横山畜産(雌、500・3kg、7668円、



同)▽優良賞1席 山勇畜産(去勢、467・6kg、4882円、肉のキング)▷同2席 牛丸畜産(去勢、482・4kg、5692円、肉のひぐち)▷同3席 うし和牧場(雌、485・8kg、4536円、馬喰一代)▷同4席 神谷保夫(雌、419・9kg、4568円、肉のキング)▷同5席 武藤畜産(去勢、537・5kg、4244円、ながせ食品)▷同6席 大坪和夫(雌、449・0kg、4417円、丸明)▷同7席 わたなべ(雌、426・5kg、4687円、肉のひぐち)▷同8席 中島博秀(去勢、526・8kg、4471円、丹生川精肉)▷同9席 早川畜産(去勢、452・5kg、4493円、肉のキング)▷同10席 つづく牧場(去勢、545・0kg、4428円、丸明)

肉用牛振興基金協会 「環境調和型持続的肉用牛生産」の情報交換会開催

一般(社)全国肉用牛振興基金協会(森山裕会長)は持続可能な肉用牛生産に関連する主な事業とともに、今年度から、JRA日本中央競馬会の支援を受け、国産資源の積極的活用や環境負荷軽減などへの対応や飼養コスト削減、生産性向上のための早期出荷された和牛肉への理解醸成と生産技術の普及、必ずしも脂肪交雑に特化しない国内外の消費者ニーズを踏まえた和牛肉生産など「環境調和型持続的肉用牛生産推進事業」の取り組みを行っている。事業を分かりやすくまとめたパンフレット『環境にやさしい、牛にやさしい 持続可能な肉用牛生産』を会員

である都道府県畜産協会を通じて、全国の生産者ならびに関係者に配布する。

また、10日午後2時から農業情報の総合サイト「マイナビ農業」を活用し、「環境調和型持続的肉用牛生産推進事業 第1回オンライン情報交換会」を開催する。環境省地球温暖化対策課(併任)脱炭素ビジネス推進室課長補佐の峯岸律子氏、農業・食品産業技術総合研究機構のスマート畜産施設グループの荻野暁史グループ長、農水省大臣官房みどりの食料システム戦略グループ課の伊藤直樹課長補佐が講演を行う。

さいたま市場黒毛和種枝肉共励会、名誉賞に長谷川牧場、中村畜産が購買

さいたま食肉市場(株)主催のさいたま市食肉中央卸売市場第38回黒毛和種枝肉共進会が2日、さいたま市の同市場で開催され、黒毛和種105頭が出品された中で、名誉賞に埼玉県武州和牛・(株)長谷川牧場が輝いた。受賞牛(去勢牛、格付A5、枝肉重量671・5kg)はキロ当たり3739円で(株)中村畜産が購買した。

共進会の冒頭、さいたま食肉市場の金子健司社長は「飼料価格や資材価格の高騰、高止まりによるコストの上昇が、生産者の皆さまの経営に大きな影響を及ぼしていると思う。また、国内の食肉消費については、物価高によって、消費者の生活防衛意識、節約志向が高まり、牛肉の消費が伸び悩み、卸売価格も弱含みで推移するなど、畜産業界、食肉業界にとっては厳しい状況が続いている。そのような中、生産者の方々が日々丹精を込めて牛を育て上げ、本日はこの共進会に105頭の素晴らしい枝肉がそろった」とあいさつした。

名誉賞のほかには、最優秀賞1点、優秀賞3点、優

良賞5点も決定している。最優秀賞と優秀賞は次のとおり。

[最優秀賞]
武州和牛・さ
かい牧場(埼
玉県、去勢、
A5、枝肉重
量=616・0
kg、単価=
3349円、購買者=(株)ふじなわ)

[優秀賞] 磐上正行(群馬県、去勢、A5、546・5kg、2910円、総合食品エスイー(株))▷猿山利光(栃木県、去勢、A5、609・5kg、3214円、同)▷武州和牛・さかい牧場(埼玉県、去勢、A5、596・0kg、2871円、同)

大阪市場で鹿児島県肉牛枝共を開催
ダイユー出品牛がGC獲得、4324円で落札

J A鹿児島県経済連は11月29日、大阪市中央卸売市場南港市場で令和6年度鹿児島県肉牛枝肉共進会を開催。県内から選抜された上質な黒毛和牛35頭が出品され、厳正な審査の結果、(有)ダイユー第1農場が出品した去勢牛が最優秀賞(グランドチャンピオン)を獲得した。

出品枝肉35頭は全てA5等級に格付され、うちBMSNo.10以上の枝肉が31頭を占めるなど、歳末商戦に向けていずれ劣らぬ高品質な枝肉が並ぶハイレベルな共進会となった。その中で栄えある最優秀賞に輝いた去勢牛の枝肉は、父が「若百合」、2代祖「秀幸福」、3代祖「喜亀忠」の血統で枝肉重量は594・6kg。ロース芯面積が108cm²、バラ厚9・3cmの枝肉であり、A5等級でBMSNo.12に格付された。

また、枝肉競りでは最優秀賞牛をキロ当たり4324



円で中井卓矢氏が買い受けた。GC牛以外の入賞牛出品者は次のとおり。▷最優秀賞 (有) 畠久保牧場(3500円、購買者=立石食品)、▷優秀賞 (有) うしの中山(2830円、同)、東川勝広(2680円、殖生ミートパッカー(株))、うしの中山(2980円、立石食品)

【12月の相場見通し】④国産鶏肉、輸入鶏肉、素牛

【国産鶏肉】生鮮モモはジリ高に、鳥フル次第でさらに高値も

生鮮モモは最需要期の年末年始に向け、ジリ高の展開が続く。12月中旬で720～730円前後、年末にもう一段高と予想される。肉用鶏農場での高病原性鳥インフルエンザの大規模な発生などで物量的に逼迫すれば、これを上回って推移しそうだ。

冷凍モモは凍結に回るものが少ないこと、鳥フルのリスク回避などで引き合いの高まりもあり660円前後と高値で推移する。生鮮ムネは嗜好や調理方法が鍋物、煮物中心と冬型になることでやや需要も低下し、390円前後で弱もちあいの展開が予想される。冷凍ムネは中食・加工向けに安定した需要があり、380～420円で生鮮を上回った相場を維持するか。

【輸入鶏肉】輸入は大幅増、もちあい圏内

クリスマス、年末年始と外食や中食で最需要期を迎えるが、10～12月の輸入量は前年を大幅に上回って推移しており、おおむねもちあいかやや弱もちあいでの展開が予想される。円安が続いた影響などで、ブラジル産解凍モモ正肉も370円前後と決して安くはないが、国産冷凍モモの高値も続き、テーブルミートとして解凍品を目玉訴求する用途で量販店などの引き合いは強まるものとする。また、国内の鳥フルまん延などがあれば、ブラジル産、タイ産ともモモ正肉を中心にもう一段高もあり得る。

【素牛】和子牛は回復基調か 上場減少で乳牛は高値

【和子牛】11月20日公表の市場成績(全農、速報)は全国平均(税込み、雌・去勢含む)が10月終値から2万7千円高の約53万円(下旬開催を除く)と反発した。牛マルキンの継続的な発動が相場を下支

えするほか、枝肉販売も季節要因と共励会シーズンの到来で需要がやや上向いた。性別では雌が同3万円高の46万6千円、去勢は同2万4円高の58万1千円だった。値動きは地域や市場別にまちまちだが、ほぼ全面高の展開で、前日までに取引を終えた35市場のうち9割が10月水準から上げた。大産地では南北海道が上げたほか、軟調だった南九州2県も総じて反発した。

最終商戦の12月は枝肉の需要期で例年、肉牛出荷は増える。季節的に補充買いは増える見込みで相場の回復基調が続くか。気配は続伸。全国平均は去勢で58万～59万円、雌で46万～47万円とみる。

【乳子牛】11月は行楽需要や訪日観光客の増加より需要が拡大する中で、もともとの出回り頭数の少なから乳牛去勢枝肉相場は強含みで推移した。全国主要家畜市場における素牛価格については、上場牛の品質にバラツキがみられたものの、依然として出回り頭数が減少していることから高値となった。北海道主要7市場における初生ホル雄の取引概況は、生産費の高止まりが長期化する中、上場頭数が減少したことで強含みとなった。

12月の枝肉相場は、本格的な鍋物需要が期待されることや、外食需要が拡大する時期でもあることから、強含みの展開が予想される。乳雄素牛の取引価格は、輸入牛肉の代替需要として需要が強まることから高値で推移すると思われる。北海道における初生ホル雄の素牛価格は、依然として上場頭数の減少に歯止めがかかっておらず、高値で推移する見込み。交雑種は雌31万円前後、去勢33万円前後の展開が予想される。

宮崎県川南町で鳥フル、肉用鶏3万5千羽殺処分―農水省

農水省は3日、宮崎県川南町の家禽農場で今シーズン国内12例目となる高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認されたことを発表した。

これを受け、同農場では、肉用鶏約3万5千羽が殺処分となる。

[資料] 日本食肉流通センター週間市況 〈和牛・交雑牛・乳牛チルド〉

(令和6年11月17日～11月23日)

(単位：キロ当たり円、税込み、重量kg)

		第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み 平均値	取引重量		第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み 平均値	取引重量	
		和牛チルド「4等級」	首都圏	カタロース	3,672	3,897		4,806	4,072	4,318		3,636	3,780
カタ	3,218			3,500	3,575	3,479	9,757	3,564	3,672	4,158	3,803	5,343	
カタバラ	2,160			2,160	3,780	2,433	1,764	2,085	2,124	2,195	2,130	2,410	
マエセット	-			-	-	-	334	-	-	-	-	-	
ヒレ	8,941			9,180	10,815	9,460	1,834	8,640	8,640	10,031	9,103	2,346	
ロイン	5,292			5,940	6,480	5,945	2,828	5,400	5,521	5,940	5,512	4,239	
ロインセット	5,912			6,183	6,183	6,146	2,604	-	-	-	-	-	
トモバラ	1,836			2,202	2,478	2,203	10,064	1,866	2,672	3,056	2,538	8,704	
ウチモモ	3,789			4,158	4,428	4,059	1,766	3,712	4,104	4,158	4,011	2,208	
シントアマ	3,847			3,996	4,212	3,999	2,779	3,681	4,104	4,320	4,034	1,883	
ランイチ	3,888			4,013	4,266	4,031	3,112	3,678	4,104	4,590	4,079	1,990	
ソトモモ	3,348			3,754	3,754	3,677	3,622	3,494	3,559	5,162	3,651	1,551	
スネ	1,917			1,957	2,155	2,020	8,220	1,855	1,975	2,131	1,999	4,390	
モモセット	4,104			4,218	4,312	4,213	14,408	3,414	3,564	3,672	3,568	11,809	
セット	3,564	3,918	4,306	3,885	25,646	3,240	3,726	4,104	3,666	12,746			
重量合計					93,056					62,326			
和牛チルド「4等級」	中京圏	カタロース	0	-	-	-	719		3,348	3,348	3,635	3,394	1,275
		カタ	3,348	3,456	3,834	3,563	1,522	3,240	3,528	3,564	3,457	1,034	
		カタバラ	2,631	2,657	2,889	2,725	1,555	-	-	-	-	361	
		ヒレ	-	-	-	-	553	-	-	-	-	327	
		ロイン	-	-	-	-	547	-	-	-	-	425	
		トモバラ	1,674	1,944	1,944	1,865	2,382	1,674	1,836	2,700	1,914	1,514	
		ウチモモ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	223	
		シントアマ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	473	
		ランイチ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	243	
		ソトモモ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	317	
		スネ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	482	
		モモセット	3,564	3,672	3,780	3,708	1,313	-	-	-	-	-	
		セット	3,637	3,637	3,910	3,666	5,490	3,207	3,752	4,191	3,725	6,187	
		重量合計					14,081					12,861	

(令和6年11月17日～11月23日)

		第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み 平均値	取引重量		第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み 平均値	取引重量	
		交雑牛チルド「3等級」	首都圏	カタロース	2,891	3,081		3,249	3,069	8,374		2,808	2,916
カタ	2,214			2,592	2,878	2,543	9,023	2,361	2,435	2,754	2,470	11,402	
カタバラ	1,992			2,162	2,264	2,141	2,909	1,458	1,524	2,376	1,547	2,964	
ヒレ	5,508			6,264	6,551	6,151	3,604	6,264	6,588	6,804	6,584	3,472	
ロイン	4,154			4,396	4,594	4,388	2,986	4,396	4,459	4,860	4,560	6,276	
トモバラ	1,620			2,484	3,192	2,401	9,259	1,512	1,566	2,160	1,652	10,404	
ウチモモ	2,376			2,470	2,621	2,471	3,973	2,376	2,484	2,597	2,490	4,997	
シントアマ	2,377			2,592	2,862	2,605	4,134	2,268	2,322	2,592	2,381	8,355	
ランイチ	2,322			2,592	2,754	2,564	3,859	2,484	2,549	2,700	2,544	5,995	
ソトモモ	2,119			2,214	2,268	2,203	3,300	2,160	2,268	2,484	2,298	5,613	
スネ	1,458			1,512	1,620	1,539	2,952	1,458	1,566	1,649	1,562	6,840	
モモセット	-			-	-	-	-	2,160	2,484	2,739	2,427	10,083	
セット	2,742			2,970	3,168	2,940	34,303	2,976	3,186	3,307	3,151	38,857	
重量合計							88,676					126,417	

		第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み 平均値	取引重量		第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み 平均値	取引重量	
		乳牛チルド「3等級」	首都圏	カタロース	2,717	2,970		3,240	3,010	5,199		2,269	2,446
カタ	1,566			1,831	2,119	1,778	1,167	1,582	1,728	1,962	1,729	5,622	
カタバラ	-			-	-	-	494	-	-	-	-	-	
三角バラ	-			-	-	-	-	2,291	2,754	3,456	2,871	1,170	
ブリスケット	-			-	-	-	-	1,150	1,220	1,296	1,205	3,854	
ヒレ	5,030			5,076	5,400	5,174	2,296	4,860	4,991	5,940	5,197	2,394	
ロイン	3,242			3,456	3,564	3,437	1,674	3,078	3,209	3,618	3,254	4,494	
トモバラ	1,242			2,352	2,697	2,092	5,726	1,171	1,382	2,102	1,481	6,869	
ウチモモ	1,966			2,052	2,267	2,102	3,219	1,890	1,944	2,160	1,976	7,180	
シントアマ	1,970			2,052	2,160	2,061	1,795	1,728	1,760	1,836	1,780	3,361	
ランイチ	1,944			1,998	2,203	2,047	2,644	1,620	1,836	1,981	1,811	4,686	
ソトモモ	1,836			1,836	1,998	1,873	1,204	1,836	1,944	2,808	2,111	3,841	
スネ	1,469			1,512	1,512	1,504	2,028	1,404	1,512	1,577	1,494	6,661	
セット	2,414			2,538	2,700	2,561	15,922	1,781	1,944	1,979	1,923	29,416	
重量合計				合計	43,368				合計	88,083			

東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数

[東京食肉卸売市場] 12月3日
枝肉卸売価格(瑕疵除く)(頭、1kg当たり円、税込み)

◇牛生体		5	4	3	2	1		
和牛	雌 A	高値	4,187	3,270	2,354	-	-	
		安値	1,838	2,079	2,108	-	-	
		平均	2,856	2,455	2,270	-	-	
	106頭	頭数	69	32	5	-	-	
		雌 B	高値	-	-	-	-	-
			安値	-	-	-	-	-
	平均		-	-	2,139	-	-	
	1頭	頭数	-	-	1	-	-	
		去 A	高値	4,064	2,539	2,360	-	-
			安値	2,370	2,271	2,197	-	-
	平均		2,687	2,412	2,296	2,055	-	
	212頭	頭数	145	50	16	1	-	
去 B		高値	-	-	-	-	-	
		安値	-	-	-	-	-	
	平均	-	-	-	-	-		
-頭	頭数	-	-	-	-	-		
	乳牛	雌 B -頭	平均	-	-	-	-	
		雌 C -頭	平均	-	-	-	-	
去 B -頭		平均	-	-	-	-		
交雑牛	雌 B	平均	-	-	1,639	1,444		
		頭数	-	-	3	3		
		雌 C	平均	-	-	1,359	-	
2頭	頭数	-	-	-	2	-		
	去 B	平均	1,944	1,792	1,678	1,538		
		頭数	1	4	15	7		
5頭		平均	-	1,536	1,579	1,440		
	頭数	-	1	3	1			

	牛	豚	搬入牛	搬入豚		その他
と畜	430	953	-	(競り)	(相対)	
売買	430	941	131.0	-	-	60

◇牛搬入		5	4	3	2	1
和 雌	A	2,876	1,958	1,485	1,177	-
	B	-	1,758	1,462	1,027	752
和 去	A	3,041	2,334	-	-	-
	B	-	-	-	-	-
乳 雌	B	-	-	-	548	674
	C	-	-	-	866	772
乳 去	B	-	-	-	-	-
	C	-	-	-	-	-
交 雌	B	-	-	1,377	1,148	-
	C	-	-	-	-	-
交 去	B	-	1,924	-	1,560	-
	C	-	-	1,867	-	-

◇豚		[極上]	[上]	[中]	[並]	[等外]
生体	高値	810	850	756	648	609
	安値	705	605	616	410	356
	平均	736	682	657	576	468
	頭数	(14)	(318)	(340)	(165)	(104)
搬入競り	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	平均	-	-	-	-	-
搬入相対	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	平均	-	-	-	-	-
頭数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	

[大阪食肉卸売市場] 12月3日
枝肉卸売価格(生体)(1kg当たり円、税込み) [] は豚規格

	5[極上]	4[上]	3[中]	2[並]	1[等外]
和 雌 A	2,537	2,270	1,950	-	-
(頭数)	(28)	(8)	(2)	(-)	(-)
B	-	-	-	-	-
(頭数)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
和 去 A	2,636	2,336	2,142	-	-
(頭数)	(34)	(16)	(1)	(-)	(-)
B	2,258	2,090	-	-	-
(頭数)	(1)	(2)	(-)	(-)	(-)
乳 去 B	-	-	-	1,188	-
交雑雌 B	2,052	1,676	1,536	1,447	-
C	-	-	-	1,166	-
交雑去 B	-	1,705	1,633	1,407	-
C	-	-	1,540	-	-
豚	-	559	534	480	-

[全国と畜概算頭数]
農水省統計部発表 (頭)

	12月3日	12月2日	(12月累計)
豚	69,100	67,200	136,300
成牛計	5,420	5,720	11,140
和牛雌	1,310	1,190	2,500
和牛去勢	1,640	2,060	3,700
乳牛雌	790	300	1,090
乳牛去勢	590	620	1,210
交雑雌	470	650	1,120
交雑去	620	900	1,520

[去勢牛B3・2規格 枝肉取引価格] 12月3日

	1,565円	(前日 1,494円)
東京		
	1,473円	(前日 1,628円)
大阪		

[豚・全農建値] 12月3日

上	中	取引頭数	市況
667円	652円	1,138頭	急伸

と畜	牛 136頭	豚 124頭	牛概況	もちあい
売買	牛 142頭	豚 84頭	豚概況	急落

各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場

[主要市場豚枝肉卸売価格] 12月3日 (1kg当たり円、税込み)

	上加重 (前日)	中加重 (前日)	と畜	上場	市況
北海道 [セ]	572 (572)	- (-)	6,129	-	もちあい
仙台 [中]	571 (549)	502 (500)	559	90	続伸
宇都宮 [地]	- (565)	- (556)	-	-	休市
茨城 [地]	641 (603)	614 (578)	1,178	732	続伸
群馬 [地]	677 (644)	619 (556)	2,366	391	続伸
さいたま [中]	685 (634)	673 (626)	252	249	急伸
東京 [中]	682 (634)	657 (631)	953	941	大幅続伸
横浜 [中]	636 (607)	626 (585)	660	665	続伸
山梨 [地]	645 (-)	625 (-)	164	80	品薄高
浜松 [地]	598 (583)	555 (529)	374	35	上伸
名古屋 [中]	602 (625)	567 (612)	1,000	249	下押し
京都 [中]	615 (585)	590 (575)	123	98	もちあい
大阪 [中]	559 (598)	534 (539)	124	82	急落
神戸 [中]	610 (-)	626 (-)	-	156	-
岡山 [地]	647 (645)	641 (613)	270	209	もちあい
広島 [中]	617 (576)	584 (543)	226	95	急騰
福岡 [中]	716 (670)	653 (660)	551	63	続伸

注：北海道はホクレン大卸売価格で、前日の全道と畜頭数。

[日本食肉流通センター] 11月26日～12月2日
豚カット肉 [I] (1kg当たり円、税込み、重量kg)

[食鳥正肉日経相場] 12月2日
荷受売値平均値 (kg当たり円、税抜き)

◇首都圏 総重量 2,016,288 kg

◇東京 (7社)

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,116	1,188	1,216	1,183	103,784
うで	713	757	795	758	148,726
ロース	1,015	1,116	1,160	1,106	205,789
ばら	1,134	1,261	1,302	1,250	220,113
もも	721	756	795	758	246,136
ヒレ	1,131	1,134	1,404	1,180	13,601
セット	872	1,032	1,079	998	1,078,139

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	659	701	826	215
ムネ	360	388	501	148

◇大阪 (3社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	676	731	1,010	8
ムネ	377	428	570	5

◇近畿圏 総重量 819,954 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,166	1,267	1,290	1,255	64,498
うで	702	734	788	733	131,054
ロース	1,058	1,153	1,221	1,144	126,077
ばら	1,188	1,251	1,351	1,265	143,533
もも	704	734	789	734	178,399
ヒレ	1,080	1,120	1,245	1,144	10,658
セット	869	972	1,062	973	165,735

[農水省統計情報部食鳥市況] 12月2日
kg当たり円、税抜き

	モモ肉	ムネ肉	手羽モ	手羽サ	ササミ
高値	976	632	550	600	650
安値	689	384	290	360	350
平均	728	415	-	-	-

※日本食肉流通センター：①数値はすべて記載日中間（1週間分）に収集した累積データをもとに算定しており、直近1週間の状況を示している。②重量ベースでみた価格の分布。代表値は「重量中央値」であり、参考値として「第1四分位値」「第3四分位値」「刈込み平均値」を算定。③収集した取引価格データ（単価・重量）を単価の低いものから順に並べ替えた上で取引重量を累積し、総取引重量のちょうど50%に位置する単価を「重量中央値」。最低価格から順に累積したデータを4等分し、最初の境界に位置する単価を「第1四分位値」3番目の境界に位置する単価を「第3四分位値」という。「刈込み平均値」は、第1四分位と第3四分位の間の重量ベースの平均値（加重平均値）。

食肉業界紙のパイオニア

食肉通信の 専門紙・誌と本

食肉業界のあらゆる情報を迅速・正確に伝えるべく、日刊、週刊、月刊の3紙を定期発行。食肉関連の情報を網羅した週刊「食肉通信」、日々のニュース速報に特化した日刊「食肉速報」、市場分析などテーマ性の高い情報を詳細に掘り下げる月刊「ミート・ジャーナル」を基幹媒体として、食肉に関する専門書籍を多数発行しております。

◆業界動向がデータでわかる 数字でみる食肉産業

生産から流通、販売まで関連分野のデータを集積。B5判。年1回発行。

B5判 472頁 4,191円(送料別)

◆畜産・食肉業界の動向大全 日本食肉年鑑

現状分析と将来の展望、戦略構築に必携の一冊。関係名簿、畜産・食肉需給の動向、食肉流通の動向、食肉加工品関係の売れ筋動向なども収録。年1回発行。

B5判 470頁 14,850円(送料別)

◆食肉販売&経営関連

銘柄牛肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄牛肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴など最新データを満載。

B5判 240頁 定価2,200円(送料別)

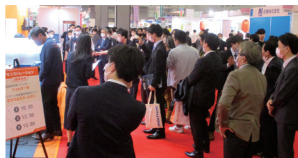
銘柄豚肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄豚肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴、輸出の状況など最新データを満載。

B5判 240頁 定価2,200円(送料別)

◆イベント

◆国内で唯一、 最大級の食肉総合見本市



食肉産業展

食のグローバル化が目覚ましい発展を遂げる中で、和牛に象徴される日本独自の食文化を守り今後の成長を促すため、多彩な素材食品、加工技術、販売手法、管理システムを一堂に集めて提案いたします。

(HP) <https://www.shokuniku-sangyoten.jp/>

週刊 食肉通信



食肉全般の行政、業界ニュースをはじめ、新製品や食肉店経営のページ、量販店・外食、食肉組合、食肉市場などのニュースのほか、週間・月間市況や全国の食肉市場の牛・豚肉相場、食鳥相場など、国内外の生産から商社、卸、小売まで広範な情報を掲載しています。わが国唯一の食肉専門紙。

発行は毎週火曜日、ブランクカット判8~12ページ、価格は年間25,000円(税・送料込)

日刊 食肉速報



食肉関連に関する行政、業界の動向をはじめ、国産(牛枝肉・部分肉、豚枝肉・部分肉、プロイラー)と輸入(米国産やカナダ産の牛肉・豚肉、豪州産牛肉など)の相場市況を毎日掲載するとともに、企業情報・企業倒産など日々の業界ニュースをお届けします。

発行は月曜日から金曜日、B5判14ページ、価格は年間82,080円(税・送料込) ※軽減税率対象

月刊 ミート・ジャーナル



食肉の流通チャネルが多様化する中で、その時々のもっとも話題性の高いテーマを多角的視野で捉え、現場をレポート・分析。あわせて食肉・食肉製品など総業の製造・流通・販売の現場ですぐに役立つ技術情報などを掲載する月刊専門誌。

発行は毎月月上旬、B5判120~150頁、価格は年間23,100円(税・送料込)

◆教材&レポート等

◆あなたの常識を強固にする 今さら聞けない肉の常識

平野正男 著
鏡 晃

肉はなぜ赤いのか、しゃぶしゃぶがおいしい理由は?など66の常識をわかりやすく解説。

A5判 152頁 定価1,500円(送料別)

◆知識を豊かにする

食肉用語事典〈新改訂版〉

日本食肉研究会編 A5判 506頁 定価7,000円(送料別)

◆~食肉のプロフェッショナルを育てる~シリーズ

牛枝肉・牛部分肉の見方 牛肉の見方を簡単図解

牛枝肉・牛部分肉について、各方面のプロに幅広く取材し、「牛枝肉、牛部分肉のポイント」について分かりやすくまとめた待望の入門書。

B5判 90頁 定価3,000円(送料別)

◆ステーションナリー

食肉手帳 DIARY

毎年発行し好評をいただいている業界人必携の手帳がグレードアップ。機能性、食肉価格などの資料も充実し、日頃の業務をサポートします。名入れも可。

横9.4cm×縦14.5cm 定価990円 ※購入される冊数によって価格は変動します

お申し込みは電話かFAXで
お近くの食肉通信社まで

株式会社 食肉通信社

◆大阪 〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48

TEL 06(6538)5505 FAX 06(6538)5510

◆東京 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町18-1

TEL 03(3663)2011 FAX 03(3663)2015

◆九州 〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12

TEL 092(271)7816 FAX 092(291)2995